

令和6年度 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

令和6年8月22日策定
千葉県バス対策地域協議会

1. 生活交通改善事業計画の名称					
令和6年度千葉県駅ロータリー出庫灯整備事業計画					
2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性					
船橋競馬場駅前ロータリーの出入口は近隣の大型商業施設に向かう歩行者が多く、視覚障がい者による利用機会も多くなると考えられるため、ロータリー出入口に音声案内機能付きの出庫灯を整備し、バスの存在を歩行者に周知することで、接触事故のリスクを低減し、公共交通を利用しやすい環境を整えることを目的とする。					
3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果					
(1) 事業の目標					
・ 駅ロータリー出入口への音声案内機能付き出庫灯整備（1基）					
(2) 事業の効果					
・ 視覚障がい者の危険予測補助、接触事故防止。					
4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者					
事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）					
・ 音声案内機能付き出庫灯整備					
(内訳)					
		事業者名			
1		京成バス株式会社			
5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
令和6年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負 担割合	事業者負担 割合
千葉県駅ロータリー出庫灯整備事業	3,698千円 100%	1,220千円 33%	0千円 0%	0千円 0%	2,478千円 67%
※国費、都道府県負担割合については、予算の都合等により増減する可能性がある					
6. 計画期間					
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 「●」は、年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載					
事業の名称	令和6年度				
	4月	9月	12月	2月	
音声案内機能付き出庫灯整備		●	●		
		交付決定日 以降着手			2月28日 完了
7. 協議会の開催状況と主な議論					
令和6年7月 千葉県バス対策地域協議会 事業計画の策定について					

8. 利用者等の意見の反映

県のホームページにて本計画に関する意見を募集 令和6年7月31日～8月13日

9. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	千葉県総合企画部交通担当部長 錦織 良匡
地方運輸局	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長 菊池 雅彦
地方運輸局	国土交通省関東運輸局自動車交通部長 矢吹 尚子
千葉県市長会を代表する者	旭市長 米本 弥一郎
千葉県町村会を代表する者	東庄町長 岩田 利雄
交通事業者	千葉県バス協会長 宮本 貴史
学識経験者	日本大学名誉教授 榛澤 芳雄

10. 軽微な変更の取扱いについて

--